



5月にテキサス州Uvaldeの小学校で悲惨な銃撃事件が起き、あらためて銃の携帯が法的に認められている街に住んでいることを認識された方も多いのではないでしょうか。ヒューストンはとても暮らしやすく素敵な街で、子供を育てるにも素晴らしい環境が整っていますが、治安に関しては日本とは少々異なる心構えが必要となる場合もあります。

6月号、7月号、8月号の安全対策特集に続いて、本稿では現地に20年以上滞在歴のある方々が常識として知っていること、また日頃から気をつけている子供関連の治安情報をご紹介します。10月末には子供たちが楽しみにしているハロウィンもやって来ますので、この機会にバックナンバーも併せて、ぜひご一読ください。(編集部)

## 1. 子供だけで近所のプールや公園、公共のトイレなどに行かせない。

保護者は「子供から目を離さない」という姿勢が基本です。誘拐事件は意外と身近なところでも起こっているため、小さいお子さんからティーンエイジャーに至るまで、それぞれの年齢層にあったレベルで子供を見守る必要があります。日本の遊園地やデパートで「迷子のお知らせ」が流れるような平和的な感覚で、当地で子育てをすることはお勧めしません。

近所のプールや公園、レストランやモールのトイレなどにも行くときも、年齢を問わず保護者が同行するようにしましょう。また、子供が車を運転できる年齢に達すると、運転が上達するまでは友人を同乗させないルールを設けたり、運転に慣れてきても行き先や友人の連絡先などを都度確認し、時には携帯電話のGPSで居場所を確認することをお勧めします。

“ヒューストンで子供を育てる際には、年齢を問わず保護者がしっかり見守り、子供から目を離さないという姿勢が大切です。”

(ヒューストン滞在歴25年)

## ◆ ハロウィンのTrick-or-Treatingで気を付けること ◆

たとえ自宅の近所を回るときでも子供だけで行かせないこと、もらったお菓子を確認せずに直ぐに口に入れさせないこと、玄関口の明かりを消して不参加表明している家には立ち寄らない等のルールを教え、保護者が見守ることが大切です。

一昔前に、ヒューストンではハロウィンのお菓子里に毒を入れた事件が実際に起こりましたので、メディアもハロウィンの時期になると必ず子供がお菓子を食べる前に保護者が確認するよう注意喚起しています。

また、1992年にルイジアナ州で日本人留学生(当時16歳)がハロウィンパーティーの会場である家を間違え、訪れた家の庭先で不法侵入者と間違えられて撃ち殺されるという痛ましい事件が起こりましたので、ティーンも決して例外ではありません。

## ◆ 携帯電話に届くAMBER Alertってなに? ◆

いきなり携帯電話のアラートが鳴り出したら AMEBER Alertだったという経験はありませんか。America's Missing: Broadcast Emergency Response(頭文字でAMBER)は、子供の誘拐事件で一刻を争う時にコミュニティに情報提供の協力を呼び掛ける通知システムです。

このプログラムは、1996年にテキサス州でAmberという当時9歳の女の子が自転車に乗って遊んでいる間に誘拐され惨殺された事件をきっかけに始まり、全米に広がりました。このプログラムが始まって以来、2020年には1000人目の子供が発見され救助されたという記録が発表されました。

## 2. 子供に留守番をさせて外出したり、車内に子供だけ残さない。

子供の成熟度はそれぞれ異なるため、具体的に何歳以上なら一人でお留守番させても良いなど年齢を記載した法律はありません。しかし、子供だけ家や車内に残して保護者が不在にしていると、近所や周りの人から育児放棄や監督不行き届きで通報される場合があります。

例えば、小さなお子さんがチャイルドシートでぐっすり眠っていると、ついつい子供を寝かせたままにして保護者が一瞬車から離れたりしたくなりますが、くれぐれもご注意ください。日頃から信頼できるベビーシッターを見つけておいたり、どなたか知り合いのお宅にお子さんを預けられる体制を作っておくことをお勧めします。

# Trick or Treat! ハロウィンの楽しみ方

アメリカの秋のイベントといえば、ハロウィンですね。バックトゥースクールが終わるとお店の売り場はハロウィンへ早変わり。まだ暑いのに「もうハロウィン?」と思われる方もいるでしょうが、家々の趣向を凝らしたハロウィンデコレーションは目を楽しませてくれますね。今回は、10月31日の当日を迎えるまでのさまざまなハロウィンの楽しみ方をご紹介します。

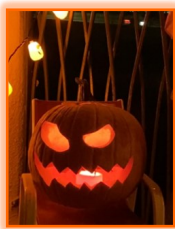
## パンプキンパッチへ出かける

この時期のアメリカらしい風景といえば、農家へカボチャを買いに行くパンプキンパッチです。もちろんスーパーマーケットでもかぼちゃは手に入りますが、山積みされたかぼちゃの中から好きなサイズや種類を選べるほか、子供たちが楽しめるヘイライドやバウンズハウスといったアトラクションもあり、ファミリーの行楽イベントとなっています。



## 「ジャック・オー・ランタン」作り

かぼちゃを手に入れたら、カービングにトライしてみましよう。カボチャのヘタ部分を切り、中の種をかき出し、目、鼻、口などの形をくり抜いて、中にキャンドルを灯します。包丁と大きめのスプーンでもできますが、カービング用に道具のセットも販売されて



います。ただし、あまりハロウィンより前に作ってしまうと、カボチャの腐敗がはじまるので注意です。



## 仮装の準備

定番コスチュームは、魔女やミイラ、ヒーローやプリンセス系など。量販店でもコスチュームは売っていますし、手作りも楽しいですね。学校でもハロウィンの前に仮装パレードを行うので、お子さんと一緒に好きなコスチュームやテーマを考えておきましょう。



## いよいよ当日!トリックオアトリート

子供たちの楽しみは何と言ってもトリックオアトリート。ご存知の方も多いと思いますが、家々を回るルールは、家の前に明かりがついていたらOKです。仮装して「Trick or Treat」と言うと、キャンディをもらえます。キャンディを入れておく袋やカゴもお忘れなく。ヒューストン中心エリアでは、West University、Heightsといった住宅地で盛んに行われています。必ず保護者が付き添うなど、安全に注意してハロウィンを楽しみたいですね! (編集委員 ファーガソンステガー仁美)

